

2017.06.21：都市整備建設委員会 本文

○菅原正和委員 私から、まず資料6の主な記念事業の1番なのですけれども、こちらに記載があるとおおり、ラリー帳を市内の小学校に夏休み前に全児童分を送付ということで、結構かなりの人数にわたるかと思えます。それで、スタンプを集めて応募すると抽選でプレゼントということなのですけれども、どのぐらいのプレゼントを差し上げるのでしょうか。

○交通局経営企画課長 昨年度実施しましたスタンプラリーでは、抽選で約110名の方に当たるプレゼントを御用意しており、今回のスタンプラリーでも昨年度と同様の数となるよう、協賛企業と調整中でございます。

なお、抽選プレゼントのほか、先着プレゼントにつきましても、昨年度1,000個御用意してございまして、今年度も同様の数を御用意できるよう調整中でございます。

○菅原正和委員 今、お聞きしたかったのは、これは子供を対象ということで、その下に乗車券発売所でも配布ということで、乗車券発売所に行きますと、必ずしも年齢が子供だけではなく、大人もいろんな方が含むと思うのですけれども、そちらのほうもこのラリーというのは参加することが可能なのでしょうか。その際、その商品が子供向けの商品だけだと大人の人はどうなのかなというのと、大人向けの商品だけだと、子供はどうなのかなというのがあるのですけれども、その辺ちょっとお聞きします。

○交通局経営企画課長 スタンプラリーは年齢制限を設けてございませんので、大人の方も参加が可能となっております。

また、景品につきましても、スポンサーの方からさまざまなものをいただいております。お子様向けだけのものとは限りませんで、ダブルプレゼントで少し高価なものも昨年度は御用意させていただいたというところもございましたものですから、さまざまなものをことしも取りそろえられるのではないかと考えてございまして、現在準備をしているところでございます。

○菅原正和委員 続きまして、その3番なのですけれども、地下鉄絵画展、こちら仙台駅のコンコース等で展示ということなのですけれども、実はWEプロジェクトの第1回目のときに、地下鉄にどうやって乗客をふやすかということで、その中で地下鉄車両の中に絵画を飾ってギャラリーにしたらどうだというアイデアが出ていたのです。

今、車両を見ていると、必ずしも募集した広告だけではなく、仙台市のポスターもいろいろあるかと思えます。そちらの空きスペースとか、そういうのを活用すれば、そういう絵画を張ることも可能だと思うし、なおかつ絵画車両をつくることによって、全国に発信ができると同時に、絵画を描いた人とか関係者というのが地下鉄に見に来るといった乗客増にもつながるかと思うのですけれども、その辺どうなのでしょう。

○交通局経営企画課長　　これまでもせんだいスマイルトレインを実施した際に、地下鉄の車内に御応募いただいた写真を掲出した取り組みも行ってございまして、こうした実績も踏まえまして、検討してまいりたいと考えてございます。

○菅原正和委員　　ぜひとも前向きに検討していただければと思います。

　　続きまして、資料7ですけれども、今回利用の動向調査をするということで、薬師堂、卸町、六丁の目、それで出発が卸町一丁目、二丁目、大和町ということで、この調査の目的が居住者を対象としているのかなと思うのですけれども、その理解で構わないのでしょうか。

○交通局営業課長　　今回の調査は、主に最寄り駅を利用する近隣の居住している方を対象にした調査でございます。

○菅原正和委員　　今、近隣ということで、大体駅からどのぐらいの範囲を想定しているのでしょうか。

○交通局営業課長　　おおむね約1.5キロの範囲を想定してございます。

○菅原正和委員　　徒歩で乗る方だと、1.5キロというと20分弱、もつとかかるかな。大体仙台市内の方ですと、20分を超えてしまうと徒歩では行かないということで20分以下だと思っておりますけれども、実は裏のほうに今回いろんな詳細の地番が書いてあります。その地番の中で、実は私南小泉四丁目に住んでいるのですけれども、南小泉四丁目は地下鉄に乗るまで16分で行けるのです。ということで、南小泉二丁目と四丁目、もしくは遠見塚一丁目というのは、この対象に含まれてもいいかと思うのですけれども、その辺どうなのでしょう。

○交通局営業課長　　東西線の乗車人員は、平成28年度から平成29年度にかけて順調に伸びてきておりまして、比較的伸びが弱い卸町、六丁の目、荒井の東部3駅のうち、駅周辺の人口の定着が進んでいる卸町駅を今回の主な対象地域といたしました。この調査は、地域の利用の可能性のある、先ほど御説明しました3駅を対象とするもので、卸町駅を中心に半径1.5キロメートルの地域を調査範囲としているものでございます。

　　お尋ねのありました南小泉二丁目などにつきましては、その1.5キロメートルの範囲から外れているということと、かつ薬師堂のほうがより近い地域ということで、出発住所のところには印字していないところでございます。

○菅原正和委員　　私が万が一これをいただいた場合には、その他の住所というところを押すという感じになるわけですね。

　　それと同時に、地下鉄って薬師堂駅までは200円で、そこから先卸町に行くと250円になるのですけれども、50円アップするということは、自転車とか何かの人は、1駅ばつとこいで行けば、そちらに乗っていくという可能性もあるのですけれども、そういう動向も調査する目的なのですか。

○交通局営業課長　今、委員から御説明いただきましたとおり、薬師堂までは200円で、それを超えると卸町だと250円になるということで、例えば大和町にお住まいの方などは、卸町駅に近い方もいらっしゃると思うのですが、今の料金等の関係で薬師堂を利用されている方もいらっしゃるのではないかと考えておまして、そういった部分の調査もできるものと考えてございます。

○菅原正和委員　これを調べるときに、今の状態ですと午前中の木曜日に調べるとあったのですけれども、これ木曜日にした理由って何なのですか。

○交通局営業課長　今回の調査でございますけれども、まず6月にしたというのは、大型連休とか学校の長期休暇の時間から外れる時期を考えたということと、あと週の初めとか週末というのは、どちらかというところと混み合うということで、平均的なということで木曜日を選ばせていただいたところでございます。

○菅原正和委員　今お聞きしたとおり、混み合うときではなく、本当に中をとるということで、本当の実態が出るような目的でこの日を選んだということだと思っておりますけれども、まずそれはいいとして、ビンゴになっていますけれども、このアイデアというのは職員の方が考えたのですか。それとも広告会社とか、どちらが考えたのでしょうか。

○交通局営業課長　今回のような調査を、平成24年度でも同じような調査をしておまして、そういった前回調査したものなどを参考にしながら、今回このように折り曲げるという調査にしたところでございます。

○菅原正和委員　この調査でいい結果が出て、交通局によってその資料になることを、なるようにしていただければと思って今回質問させていただきました。